

福島第一原子力発電所 復水貯蔵タンク（CST）を水源とした 1～3号機原子炉注水の運用開始について

< 参 考 資 料 >
平成25年7月5日
東京電力株式会社

本日（7月5日）、CST炉注水系による1～3号機原子炉注水の運用を開始した。

CST炉注水系の運用開始により原子炉注水系の信頼性が向上。

耐震性、耐津波性の大幅な向上（水源：復水貯蔵タンク（以下、CST）、電源：タービン建屋2階、屋外配管：簡易トレンチ設置）

免震重要棟での遠隔操作（ポンプ起動、流量調整）による線量低減

各号機に設置された2台のポンプの電源分割、自動起動による信頼性向上

各号機同一仕様による運転性、メンテナンス性向上

このCST炉注水系の運用開始により原子炉注水系全体の信頼性が向上する他、建屋周辺にあるCSTを水源とすることで、屋外にある原子炉注水に関わるループが縮小される（約4 km 約3 km）。



(参考) 原子炉注水に関わる循環ルートについて

